

## 府難研

府難研よりWANPAKU交流会の報告がありましたので紹介いたします。府難研は難聴児教育の研究会で、府下の難聴学級担任の先生方が出会い、話しする中で、それぞれが持つ悩みを出し合ったり勉強し合ったりできる場が必要とされ、発足した会です。

\*\*\*\*\*

## WANPAKU交流会

1月16日(金) 於： 府立生野聾学校  
 参加者 児童生徒 154人 保護者 65人  
 教師 86人 合計 305人

今年で4回目を迎える府下の難聴学級、聾学校に通う児童生徒の交流会が行なわれました。手話や文字による情報保障も行い日頃の学習の成果を舞台上で発表したり、名刺交換会、ゲームとエネルギッシュに活動しました。年に一度の交流会ですが、この日を楽しみに、また、励みにしている子どもたちです。



\*\*\*\*\*

手話や文字による情報提供や各種支援機器の活用など、難聴教育は自閉症やLD・AD/H Dの教育の支援方法にも通じる工夫が進んでいると思います。現在、府養研ではICT活用研究やLD・AD/H Dのプロジェクトが実施され、自閉症教育プロジェクトも発足しようとしています。府難研の活動はそういった動きと連動するものがあるかもしれませんね。(文責 書記 藤岡)

## 自閉症コーナー

### 第9回大阪自閉症教育研究会

堺市立百舌鳥養護学校の金井孝明先生が主催している大阪自閉症教育研究会の第9回目の会の予定を紹介します。

<http://homepage1.nifty.com/kanaipage/index.html>

日時 2004年2月14日(土) 午前10時~12時

場所 東大阪市立成和小学校 養護学級教室

東大阪市南鴻池町1-3-18 Tel.06-6745-2361

JR学研都市線・鴻池新田駅より、南へ徒歩10分ほど

内容 文献学習会 テーマ『応用行動分析学に学ぶ』

今回は、自閉症児の見せるさまざまな行動の意味やその原因などを行動分析の視点から考える基本について学習したいと思います。例えば、困った行動は、子ども自身の問題としてとらえるよりも、環境側の刺激の調節がうまくされていないから生じうると考えればどうなるでしょうか。何がそのような行動を生じさせる要因として環境側ではたらいっているのかを探ることが、そしてその刺激の調節が大切になってきます。さらに、行動を獲得させる際の現場で実際に用いることのできるいくつかの技法を行動分析に学びたいと思います。

今回は、そのような応用行動分析(ABA)の基本をテキストを使っての輪読などで学びます。テキストは準備しますので、気楽にご参加ください。

(ホームページの「お知らせ」より引用させていただきました。)

\*\*\*\*\*

大阪府養研では、府下のニーズを考え、自閉症教育プロジェクトを発足させようとしています。府下で既に自閉症教育の研究会として活動されておられる団体等で、ニュース投稿希望、仲間募集等のお知らせを載せたい旨ありましたら、府養研までご連絡ください。

\*\*\*\*\*

## 井上研究室

### 井上雅彦先生のホームページ

<http://www.edu.hyogo-u.ac.jp/mainou/index.html>

兵庫教育大学 学校教育学部 附属 発達心理臨床研究センターの井上先生のホームページを紹介します。

井上雅彦先生は12月25日のテーマ別研修会の分科会の助言者をされています。応用行動分析による実践は具体的でわかりやすいです。ホームページには、様々な行動上の問題のある子どもたちへの対応のヒントがあります。